

事務事業名	秘書一般事業		会計	一般会計	実施区分	継続			
			事業種別	経常	開始	終了			
H29作成課等名	秘書広報課	H29係等名	秘書係	H28担当課等名 秘書課					
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営						
	施策	93	良質な行政サービスの提供						
目的	対象(誰・何を)	市長、副市長			指標名及び単位		28年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	政治的、政策的判断が円滑にできる			理事者(人)		2		
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	遺漏のない日程調整ができた日の割合(市長・副市長の日程調整を遺漏なく果たした延べ日数/延べ年間調整日数・%)			100	100	100	100	
	定性目標								
事業概要	理事者が政治的、政策的な判断を円滑にできるように、理事者の意向を踏まえて市民益の視点で、理事者日程をはじめとする秘書業務を的確に調整、管理する。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	理事者の日常的なスケジュール管理				秘書一般業務		通年		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		5,523	7,123	6,866	0				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		5,523	7,123	6,866					
人件費計(千円)②		17,165	0	17,165	0				
正規職員所要時間		4,800		4,800					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		22,688	7,123	24,031	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成28年度から新たに臨時職員1人を増員して、正確で効率的な事務執行を遂行するとともに、正規職員の時間外勤務の負担を軽減することができた。								
改革改善の考え方	①問題点	ここ4~5年は対外的な業務が激増しているため、職員の負荷が大きくなっている。							
	②改革提案	臨時職員を配置することで事務効率の向上を図ることができた。							